

地理総合

長尾谷高等学校

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験
必修	2	6	2	筆記試験
教科書		学習書・副教材等		
東京書籍「地理総合」/帝国書院「標準高等地図」		なし		
学習目標				
1. 現実社会に対して地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究・解決して行く姿勢を涵養する。 2. グローバル化する国際社会のなかで、主体的に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者としての資質・能力を身に付ける。				
学習内容				
私たちが暮らす世界、地図や地理情報システムの役割、資料から読み取る現代世界 人々の生活文化と多様な地理的環境、さまざまな地球的課題と国際協力 自然環境と防災、生活圏の調査と地域の展望				
授業の進め方、課題・提出物など				
スクーリングでは、レポートに出題されている内容について解説するとともに、国際社会の大枠をとらえながら、各地域について理解が深まるよう、レポートでは触れていない関連事項、基本となる用語の解説など、レポートに取り組むために必要な基礎知識にも触れていく。				
評価基準と評価方法				
【単位認定の条件】次の①～③をすべて満たすことを単位認定の条件とする。 ①必要出席時数以上スクーリングに出席すること。 ②すべてのレポートを提出し、すべて60点以上の評価を受けること。 ③平常点及び単位認定試験の結果を総合的に評価し、評点が35点以上であること。 ※①及び②のみ満たした場合は履修のみ認定する。				
【平常点について】 スクーリング 1時間出席につき1点加点する。 レポート レポート平均点×0.3 ※小数点以下はすべて四捨五入した後の点数を採用する。 ※合計点が30点を超えた場合は、30点を上限として切り捨てとする。				
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、地域的・地球的課題への取り組みを理解している。地図や地理情報システムなどを用いて、地理に関する情報を適切かつ効果的にもとめることができる。	地理にかかわる事象を、さまざまな要素を踏まえて、多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて構想できる。考察・構想したことを効果的に説明したり、議論できる。	地理に関わる諸事象について、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者になろうとしている。よりよい社会の実現をめざし、課題を自分のこととして追究・解決しようとしている。		
担当者より				
レポートの問題は教科書の本文をじっくり読んだり、地図帳をしっかり見れば、必ず解答が書かれています。 問題文の該当する箇所だけを読むのではなく、その前後や関連ページも合わせて読むことで大枠をつかみ、世界や地域の様々な関係について学習してください。				

歴史総合

長尾谷高等学校

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験
必修	2	6	2	筆記試験
教科書		学習書・副教材等		
実教出版「詳述歴史総合」		なし		
学 習 目 標				
近現代の歴史の大きな枠組みと流れを、世界と日本の歴史を関連づけながら理解させ、変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察させる。 歴史的思考力を培い、現代の課題を把握し、解決のための思索を主体的に構想する力と、国際社会に生きる形成者としての自覚と資質を養う。				
学 習 内 容				
近代化への胎動、欧米の市民革命と国民国家の形成、アジアの変容と日本の近代化 帝国主義の時代、第一次世界大戦と大衆社会、経済危機と第二次世界大戦 冷戦と脱植民地化、多極化する世界、冷戦と脱植民地化				
授業の進め方、課題・提出物など				
スクーリングでは、レポートに出題されている内容について解説するとともに、歴史の大きな流れやレポートでは触れていない関連事項、基本となる用語の解説など、レポートに取り組むために必要な基礎知識にも触れていく。				
評価基準と評価方法				
【単位認定の条件】次の①～③をすべて満たすことを単位認定の条件とする。 ①必要出席時数以上スクーリングに出席すること。 ②すべてのレポートを提出し、すべて60点以上の評価を受けること。 ③平常点及び単位認定試験の結果を総合的に評価し、評点が35点以上であること。 ※①及び②のみ満たした場合は履修のみ認定する。				
【平常点について】 スクーリング 1時間出席につき1点加点する。 レポート レポート平均点×0.3 ※小数点以下はすべて四捨五入した後の点数を採用する。 ※合計点が30点を超えた場合は、30点を上限として切り捨てとする。				
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
近代化の歴史が、現代的な諸問題の形成に強くかかわっていることを理解している。 資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近代化による生活・社会の変容について考察し、課題を見つけようとしている。時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想することができる。		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしており、民主的な国家・社会の有為な形成者になろうとしている。	
担 当 者 よ り				
レポートの問題は教科書の本文をじっくり読めば、必ず解答が書かれています。 問題文の該当する箇所だけを読むのではなく、その前後や関連ページも合わせて読むことで歴史の流れが掴め、世界の国・地域の様々な関係が見えてきます。				

地理探究

長尾谷高等学校

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験
選択科目	4	前期 6 後期 6	前期 2 後期 2	筆記試験
教科書		学習書・副教材等		
二宮書店『地理探究』/帝国書院『標準高等地図』		なし		
学 習 目 標				
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
学 習 内 容				
【前期】自然環境、資源と産業、人・モノ・金のつながり、人口、都市・村落 【後期】文化と国家、地域区分、現代世界の諸地域、現代日本に求められる国土像				
授業の進め方、課題・提出物など				
スクーリングでは、レポートで出題されている内容を中心に教科書や地図帳を使用しながら解説します。地理探究で学ぶ内容の多くは、現代社会で起きている問題や課題に関連することが多くあります。授業では、現代社会の問題や課題なども紹介します。授業内での課題はありません。				
評価基準と評価方法				
【単位認定の条件】次の①～③をすべて満たすことを単位認定の条件とする。 ①必要出席時数以上スクーリングに出席すること。 ②すべてのレポートを提出し、すべて60点以上の評価を受けること。 ③平常点及び単位認定試験の結果を総合的に評価し、評点が35点以上であること。 ※①及び②のみ満たした場合は履修のみ認定する。				
【平常点について】 ①出席1回につき、1点を加点します。 ②レポートについては、レポート6枚の平均点に0.3をかけて計算します。 (例)レポート平均が60点の場合 → $60 \times 0.3 = 18$ 点 ※平常点については①と②を足して計算します。上限を30点とし、上限を超える場合は切り捨てます。				
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。		地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。	
担 当 者 よ り				
地理探究の学びを深めるためには、①地図帳を多く使うこと、②現代社会の問題や課題と関連づけること、が大切です。日頃からニュースなどから情報収集をしてみましょう。また、ニュースなどで紹介されている国や都市などの地名がでてきたときは地図帳を開けて場所を確認してみましょう。				

日本史探究

長尾谷高等学校

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験
選択科目	4	前期 6 後期 6	前期 2 後期 2	筆記試験
教科書		学習書・副教材等		
山川出版社706『高校日本史』		なし		
学 習 目 標				
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有益な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
学 習 内 容				
【前期】日本文化のあけぼの、古墳とヤマト政権、律令国家の形成、貴族政治の展開、院政と武士の進出、武家政権の成立、武家社会の成長、近世の幕開け。 【後期】幕藩体制の成立と展開、幕藩体制の動揺、近世から近代へ、近代国家の成立、近代国家の展開と国際関係、近代の産業と生活、恐慌と第二次世界大戦、現代の世界と日本。				
授業の進め方、課題・提出物など				
授業は、教科書を使用して進めます。授業ごとで取り扱う内容は異なりますが、日本と世界との結び付きや関わり、現代社会とのつながりなどを学びます。課題や提出物等は特にありません。出席時には教科書を必ず持参しましょう。				
評価基準と評価方法				
【単位認定の条件】次の①～③をすべて満たすことを単位認定の条件とする。 ①必要出席時数以上スクーリングに出席すること。 ②すべてのレポートを提出し、すべて60点以上の評価を受けること。 ③平常点及び単位認定試験の結果を総合的に評価し、評点が35点以上であること。 ※①及び②のみ満たした場合は履修のみ認定する。				
【平常点について】 ①出席1回につき、1点を加点します。 ②レポートについては、レポート6枚の平均点に0.3をかけて計算します。 (例)レポート平均が60点の場合 → $60 \times 0.3 = 18$ 点 ※平常点については①と②を足して計算します。上限を30点とし、上限を超える場合は切り捨てます。				
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想している。考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論している。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。		
担 当 者 よ り				
”日本史”と聞くと「暗記科目」というイメージがあるかもしれませんが、しかし、歴史を学ぶことは過去を知り、未来を考えるときに必要になります。授業を受けているときやレポートに取り組んでいるときに「なぜ」という疑問を持って取り組んでみましょう。「なぜ」と考えることこそが、歴史を学ぶ第一歩です！！				

世界史探究

長尾谷高等学校

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験
選択科目	4	前期 6 後期 6	前期 2 後期 2	筆記試験
教科書		学習書・副教材等		
山川出版705「高校世界史」		使用しない		
学 習 目 標				
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。				
学 習 内 容				
【前期】地球環境からみる人類の歴史、文明の成立と古代文明の特質、中央アジアと東アジア世界・南アジア・東南アジア世界の展開、西アジアと地中海周辺の世界形成、イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成、イスラーム教の伝播と西アジアの動向、ヨーロッパ世界の変容と展開。 【後期】大交易・大交流の時代、アジアの諸帝国の繁栄、近世ヨーロッパ世界の動向、産業革命と環大西洋革命、イギリスの優位と欧米国民国家の形成、アジア諸地域の動向、帝国主義とアジアの民族運動、第一次世界大戦と社会の変容、第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成、冷戦と第三世界の台頭、冷戦の終結と今日の世界。				
授業の進め方、課題・提出物など				
古代から現代に至る世界の歴史をグローバルな視点で、かつ網羅的に学習します。歴史を単なる過去のものとしてとらえるのではなく、現在とどのようにつながるのかという意識をもつことで、深い学びを実践することができます。				
評価基準と評価方法				
【単位認定の条件】次の①～③をすべて満たすことを単位認定の条件とする。 ①必要出席時数以上スクーリングに出席すること。 ②すべてのレポートを提出し、すべて60点以上の評価を受けること。 ③平常点及び単位認定試験の結果を総合的に評価し、評点が35点以上であること。 ※①及び②のみ満たした場合は履修のみ認定する。				
【平常点について】 スクーリングへの出席1回につき1点。 レポート6回(600点満点)の平均点。 学習への取り組みに対する加点。				
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連やつながりなどに着目して、歴史に見られる課題を把握し、解決を視野に入れて構想したことを効果的に説明、議論することができる。		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしており、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さを自覚している。	
担 当 者 よ り				
普段から、今起きている世界の出来事などについて、スマートフォンなどを使用して検索したりすることで、少しでも関心を広げておくとよいでしょう。また、「地理総合」等の授業で使用した地図帳はできれば手元において、眺めているだけでも効果的な授業につなげることができるでしょう。				